

糖尿病・内分泌内科
内科専門研修

松田淳一

糖尿病・内分泌内科について

糖尿病の外来通院患者数は約2000人、年間入院患者数は約150人で、糖尿病専門医3名と糖尿病センターの各職種コメディカルスタッフがチーム医療を実践しています。糖尿病三大合併症のほか、大血管障害・NASHやその他の合併症の早期発見・治療を関連各科と協力体制をとっています。持続血糖モニタリング装置（FGM）を用いることによって、きめ細かな血糖コントロールを目指します。

内分泌疾患に関しては、甲状腺疾患（バセドウ病・橋本病等）、下垂体疾患（先端巨大症・クッシング病）、副腎疾患（異所性ACTH症候群・副腎癌・クッシング症候群・原発性アルドステロン症・褐色細胞腫等）、副甲状腺疾患（原発性副甲状腺機能亢進症）などの診療を行っています。甲状腺疾患に関しては甲状腺エコー検査を767名（令和4年度）実施し、甲状腺腫瘍など手術が必要な例は当院外科での手術療法を行います。さらに令和元年から肥満症治療外来を開設し、日本肥満症治療学会肥満症外科手術認定施設（令和4年認定）となっています。



スタッフ

- ▶ 糖尿病学会専門医 3名・指導医 2名
 - ▶ 内分泌学会専門医 3名・指導医 2名
 - ▶ 内分泌代謝・糖尿病内科領域 専門研修指導医 2名
 - ▶ 日本糖尿病療養指導士認定機構認定資格をもつコメディカル・スタッフ21名（看護師10名、薬剤師4名、管理栄養士3名、臨床検査技師2名・令和4年度）
-

診療状況（令和5年7月現在）

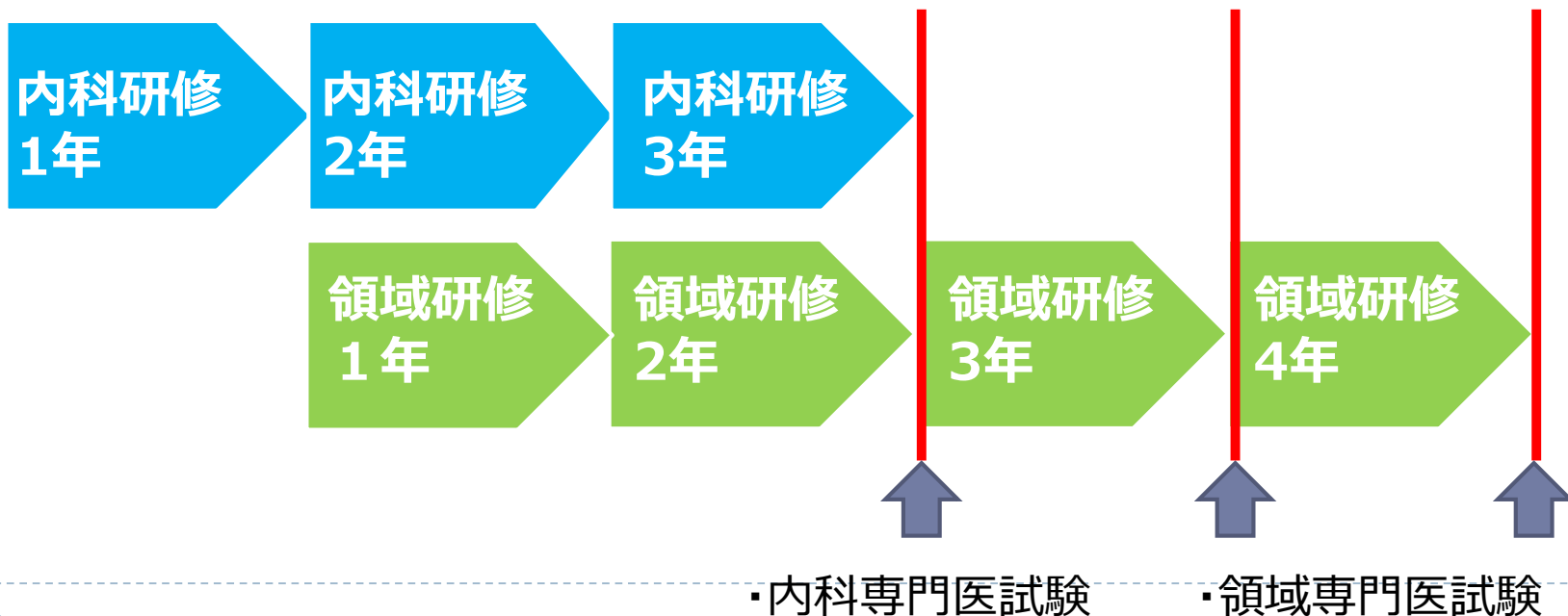
- ▶ 糖尿病教育入院 122名（令和4年度）
- ▶ 平均外来患者数 1975名/月（令和4年度）
- ▶ 平均入院患者数 32名/月（令和5年4~6月）
- ▶ 甲状腺エコー件数 767名（予約外除く）（令和4年度）
- ▶ インスリン使用患者 618名（令和5年4~6月）
- ▶ GLP1注射薬使用患者 434名（内配合剤172名）（令和5年4~6月）
- ▶ CSII（インスリンポンプ） 15名（令和5年4~6月）
- ▶ 皮下連続式グルコース測定 93名（令和4年度）
- ▶ 間欠式グルコースキヤン個人型 153名（令和5年4~6月）



専門医取得

当科は従来の日本糖尿病学会と日本内分泌学会の両方の教育指定病院であり、内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医、糖尿病内科領域専門医の取得が可能です。

内分泌代謝・糖尿病内科領域専門医（サブスペシャリティ）
糖尿病内科領域専門医（3階）
内科専門医（基本領域）



主な週間スケジュール

	月	火	水	木	金
午前					
午後	・甲状腺エコー	・甲状腺エコー ・高度肥満症 コアカンファ※	・糖尿病セン ターカンファ ・内科系合同 勉強会	・糖尿病教室	・甲状腺エコー ・糖尿病教室 ・内分泌新患 カンファ

※高度肥満症（ウェイトマネジメントチーム）のコアカンファを月1回行っています

特色その他

▶ 看護体制の一元化

病棟所属の看護師が超尿病センター外来でも担当します。

▶ 臨床検査技師の常駐

外来に常駐（午前）しており、体脂肪率や血圧測定・体重測定をします。

▶ 医師事務の常駐

医師事務が糖尿病センターに常駐しており、診断書作成や返書作成などの補助作業を行います。

▶ フットケア外来

糖尿病療養指導士の看護スタッフが実施しています。

▶ 肥満症治療外来

平成29年度より高度肥満症の外科治療（胃スリーブ手術）を開始しました。令和元年8月から肥満症治療外来を開設し、ウェイトマネジメントチームの多職種メンバーで治療介入を行います。



当科関連の行事、研修会、研究会など

▶ **入院糖尿病教室**

毎週木・金曜に入院患者向けに実施しています

▶ **世界糖尿病デーイベント**

毎年11月当院主催（または共催）にてブルーライトアップや講演会イベントを行っています。

▶ **春日井市地域連携糖尿病研修会**

市内医療機関の医療従事者向けに年1～2回研修会を実施しています。

▶ そのほか世界肥満デーに関連した市民向け講演会イベントや、**春日井糖尿病研究会**（春日井市内科医会）年2回などがあります。

